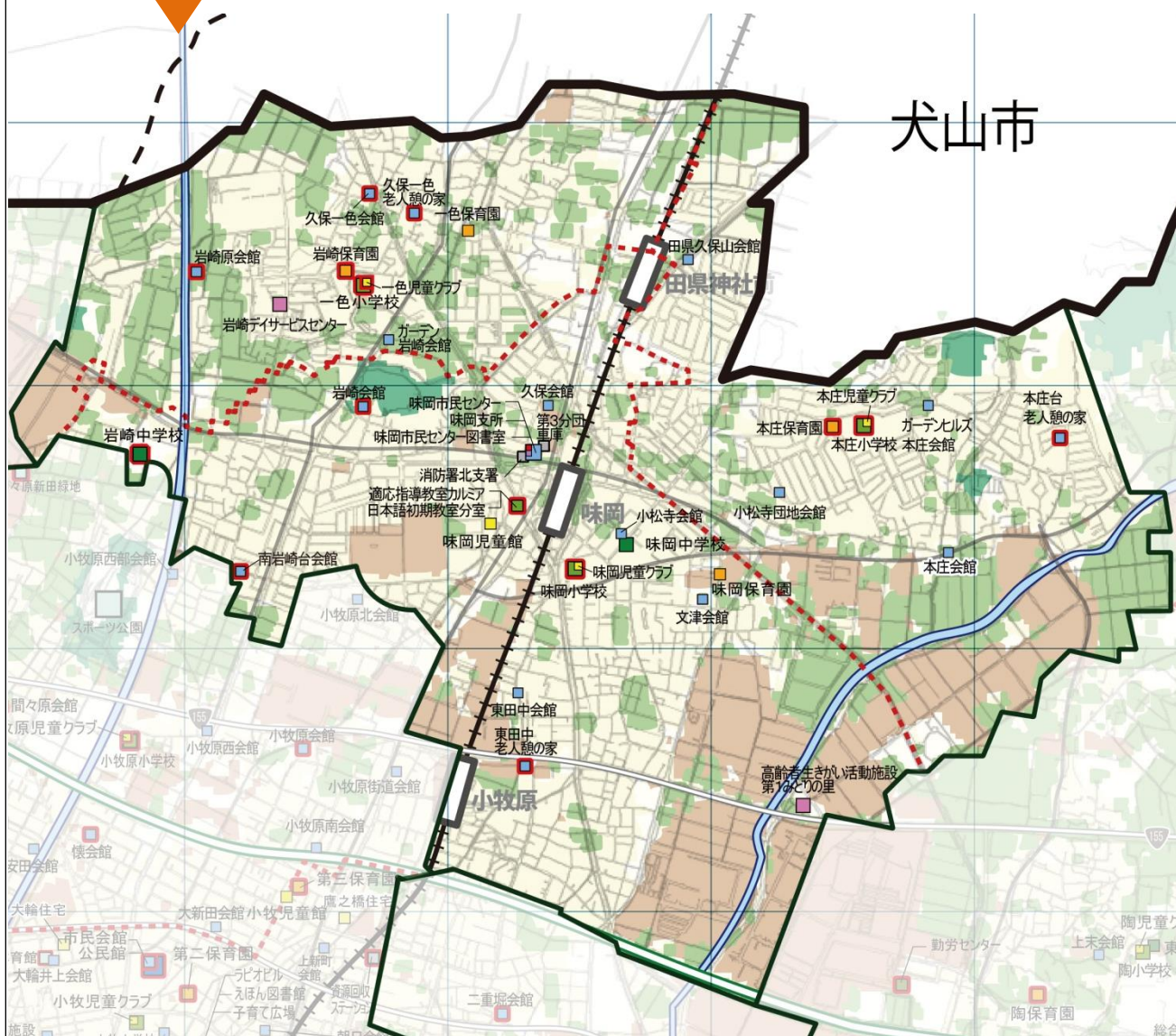
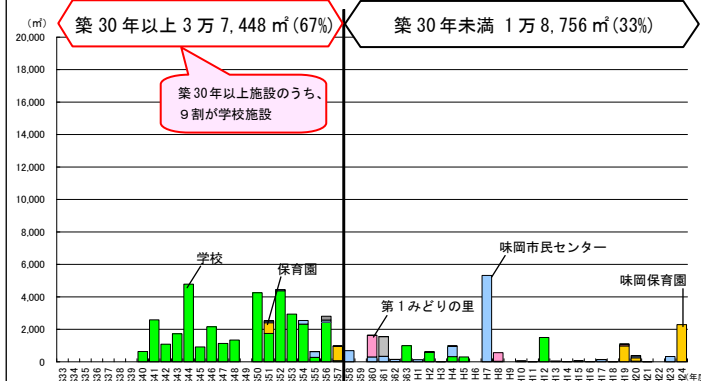
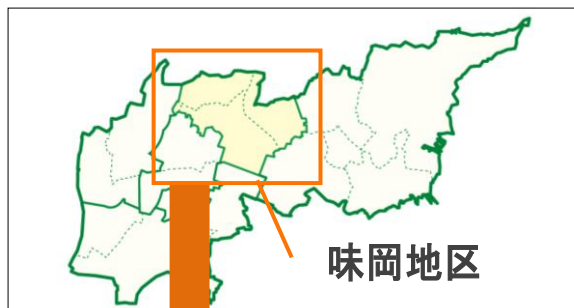


味噌地区（一色小学校区・味噌小学校区・本庄小学校区）

面積	8.1 km ²
人口	3万3,000人
人口密度	4,074人/km ²

延床面積	5.6万m ²	1.7m ² /人
------	--------------------	----------------------



凡例

- 駅
- 国道
- 高速道路
- 鉄道
- 県道・市道
- 河川
- 小学校区
- 樹林地
- 工業用地
- 水田・畑
- 住宅用地 (商業・公共施設用地含む)

0 0.5 1km

第4章 6地区・16小学校区毎の公共施設を
通じた行政サービスの実態

味噌地区（一色小学校区・味噌小学校区・本庄小学校小学校区）

利用圏域	用途分類		施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	利用状況		保有機能			コスト状況			
							稼働率	利用者数 (人)	ホール等 (㎡)	会議・集会機能			トータル コスト (万円)	利用者1人 当たり コスト (円/人)	
										面積 (㎡)	室数 (室)	平均面積 (㎡/室)			
6地区	支所	1	味噌支所	平成7年	18	53								2,457	
	高齢者福祉施設	1	高齢者生きがい活動施設第1みどりの里	昭和60年	28	1,374		6,027						2,341	3,883
		2	岩崎デイサービスセンター	平成8年	17	547		6,978						766	1,098
	図書館	1	味噌市民センター図書室	平成7年	18	412		42,555						2,651	623
	その他学校教育関連施設	1	適応指導教室カルミア（2階）	昭和54年	34	128		23						1,901	826,703
		2	日本語初期教室分室（カルミア内1階）	昭和54年	34	128								0	
	消防施設	1	消防署北支署	平成7年	18	532								11,179	
		2	第3分団車庫	平成19年	6	102								397	
16小学校区	公民館・市民センター	1	味噌市民センター	平成7年	18	4,323	55%	118,731	654	200	3	67	11,296	951	
	会館	1	東田中会館	昭和60年	28	299		3,272		149	2	75	193	591	
		2	文津会館	昭和62年	26	125		2,433		60	1	60	114	467	
		3	小松寺会館	昭和61年	27	337		6,240		166	3	55	199	319	
		4	小松寺団地会館	平成元年	24	130		3,324		48	1	48	133	401	
		5	本庄会館	平成4年	21	325		9,452		122	1	122	303	320	
		6	ガーデンヒルズ本庄会館	平成17年	8	132		2,778		70	2	35	114	410	
		7	岩崎会館	昭和55年	33	350		3,816		179	2	90	257	674	
		8	南岩崎台会館	昭和58年	30	330		8,725		193	2	97	270	310	
		9	岩崎原会館	昭和56年	32	125		1,636		73	1	73	121	740	
		10	ガーデン岩崎会館	平成20年	5	118		444		55	2	28	94	2,113	
		11	久保一色会館	昭和58年	30	351		4,021		161	2	81	242	601	
		12	久保会館	平成23年	2	325		2,878		183	4	46	259	900	
13		田県久保山会館	平成4年	21	329		10,751		174	2	87	305	284		
老人憩の家	1	本庄台老人憩の家	昭和51年	37	109		1,924		88	3	29	14	73		
	2	久保一色老人憩の家	昭和52年	36	76		1,352		42	1	42	14	104		
	3	東田中老人憩の家	昭和54年	34	224		4,043		153	2	77	114	282		
児童クラブ	1	本庄児童クラブ	平成20年	5	467		135						1,509	111,804	
	2	一色児童クラブ	昭和44年	44	61		96						890	92,672	
	3	味噌児童クラブ	平成25年	0	387		94						1,210	128,772	
児童館	1	味噌児童館	平成24年	1	1,026		52,292						2,743	525	

利用圏域	用途分類	施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	児童数 生徒数 (人)※	学級数（学級）	
							通常学級	特別支援 学級
16小学校区	小学校	1 味噌小学校	昭和41年	47	7,801	826	26	2
		2 一色小学校	昭和44年	44	6,775	574	19	3
		3 本庄小学校	昭和50年	38	6,236	770	23	2
	中学校	1 味噌中学校	平成26年	—	11,966	701	19	2
		2 岩崎中学校	昭和52年	36	8,917	462	12	2

※児童数生徒数＝単式学級在籍者数＋特別支援学級在籍者数

利用圏域	用途分類	施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	園児数 (人)	定員 (人)	入園率	コスト状況	
									トータル コスト (万円)	園児1人 当たり コスト (円/人)
16小学校区	保育園	1 味噌保育園	平成24年	1	1,263	166	150	111%	13,686	824,455
		2 岩崎保育園	昭和57年	31	923	133	140	95%	12,018	903,600
		3 一色保育園	平成19年	6	973	115	120	96%	10,745	934,347
		4 本庄保育園	昭和51年	37	684	121	140	86%	9,616	794,739

(※) ■ 築 20 年以上経過した施設 ■ 築 30 年以上経過した施設 ■ 築 40 年以上経過した施設

味噌地区（一色小学校区・味噌小学校区・本庄小学校区）

■現状と課題

＜人口動向の変化からみる課題＞

- ・ 味噌地区は、今後 20 年間の推計で地区内の総人口は約 13%の減少予測で、これは市全体が今後 20 年で約 9%減少予測となっているのと比較してほぼ同程度の傾向となっています。年齢階層別では、老年人口は約 5%（+361 人）の増加予測であり、これは市平均よりも低い増加率となっています。また、味噌地区は住宅地が中心となっていますが、地区南東部では工業系土地利用が多く見られます。地区北西部の市街化区域では、水田、畑などの農地を主とする都市的低・未利用地が多く見られ、地区南部では主な施設立地はみられません。今後は、地理的特性と地区内の人口構成変化等を踏まえ、地区内に必要な施設及び機能の適切な再配置を検討することが課題となります。

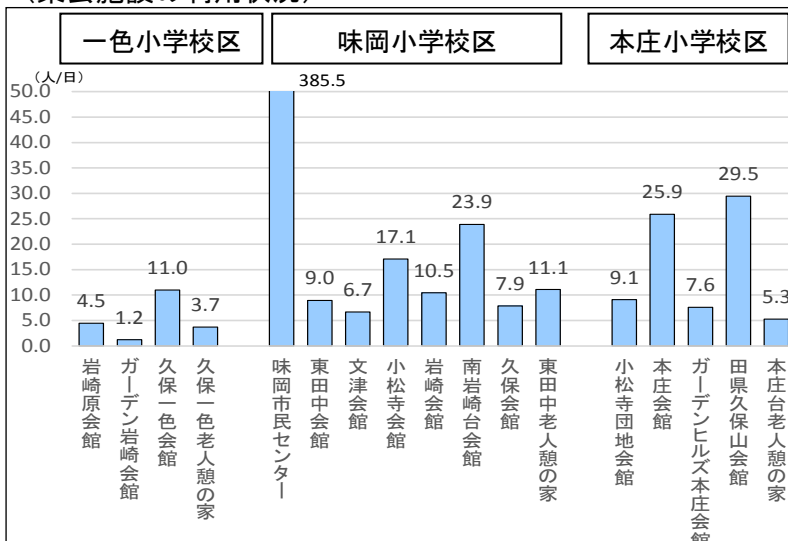
＜施設の配置状況、保有機能からみる課題＞

- ・ 地区内には、会議や集会等を行える集会施設として、市民センターが 1 施設、会館が 13 施設、老人憩の家が 3 施設整備されています。味噌市民センターは、味噌小学校区に整備されており、1 日当たりの利用者数は平均 386 人となっています。会館・老人憩の家は、一色小学校区に 4 施設、味噌小学校区に 7 施設、本庄小学校区に 5 施設整備され、1 日当たりの利用者数は、平均すると 11.5 人で施設によりかなりばらつきがみられます。市民センター、会館、老人憩の家それぞれ学習室や和室等の類似機能を保有しており、利用状況と提供するサービス（施設数及び機能）とのバランスを検証する必要があります。
- ・ 次に、0～14 歳の年少人口に着目すると、今後 20 年間でさらに約 35%の減少となります。市平均と同程度の減少率ですが、保育園は地区内に 4 園と比較的多く立地しており、その他関連する学校施設や児童館等も含め、将来の需要予測を見据えて施設の有効活用を視野に入れた検討が必要です。

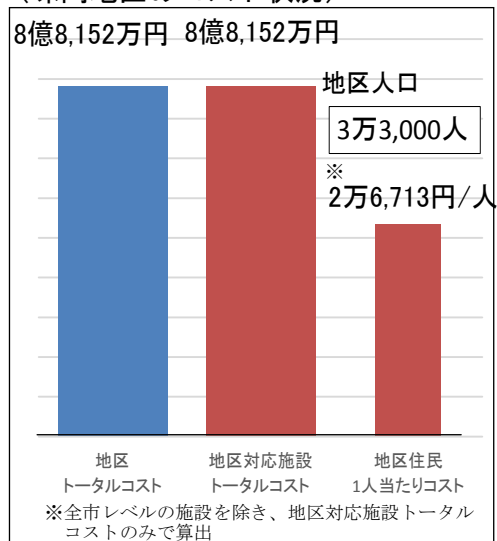
＜施設保全からみる課題＞

- ・ 地区内の施設のうち、大規模な施設は、味噌市民センターや学校施設ですが、災害時の避難において重要な役割を果たす拠点であるこれらの施設は、いずれも老朽化対策が必要な時期を迎えています。特に学校施設は他の地区に比べて老朽化しており、小規模な会館等も 16 施設中 13 施設が築 20 年以上であるため、費用を抑えた効率的な施設整備手法や周辺施設との集約化・複合化等を検討することが必要です。

（集会施設の利用状況）



（味噌地区のコスト状況）

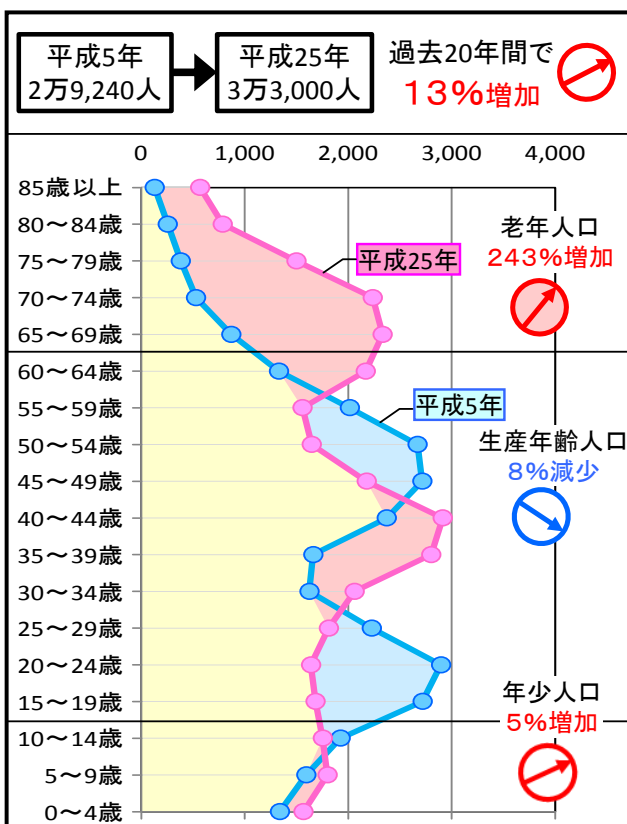


味岡地区（一色小学校区・味岡小学校区・本庄小学校小学校区）

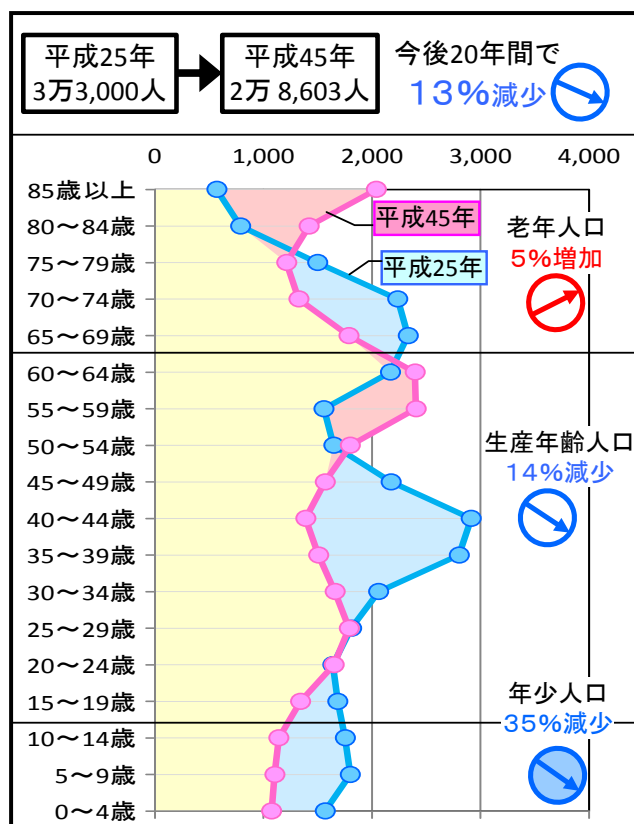
■今後の検討の視点＜地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起＞

- 味岡地区は、公共施設約 5.6 万㎡（市の保有面積の約 14%）、そのうち約 70%が学校施設となっています。また、築 30 年以上経過した施設が地区内施設の約 67%を占め、その中でも学校施設が約 93%を占めており、特に 5 校中 4 校で築 35 年以上経過しているなど他の地区に比べ学校施設の老朽化が深刻です。学校を中心として周辺施設の更新計画を検討し、機能の集約化や施設の複合化など一体的かつ効率的な施設整備計画を実施する必要があります。
- 味岡地区に整備されている施設の年間トータルコストは、合計 8 億 8,152 万円です。地区住民 1 人当たりに換算すると、2 万 6,713 円となっています。今後、施設の更新にあたっては用途横断的な更新手法を検討し、利用実態やコスト状況等総合的に判断しながら施設の改善の方向性や方針等のあり方を検討し、それらに基づいた味岡地区の施設の再編を検討する必要があります。

（人口構成変化：平成 5 年⇒平成 25 年）



（人口構成変化：平成 25 年⇒平成 45 年）

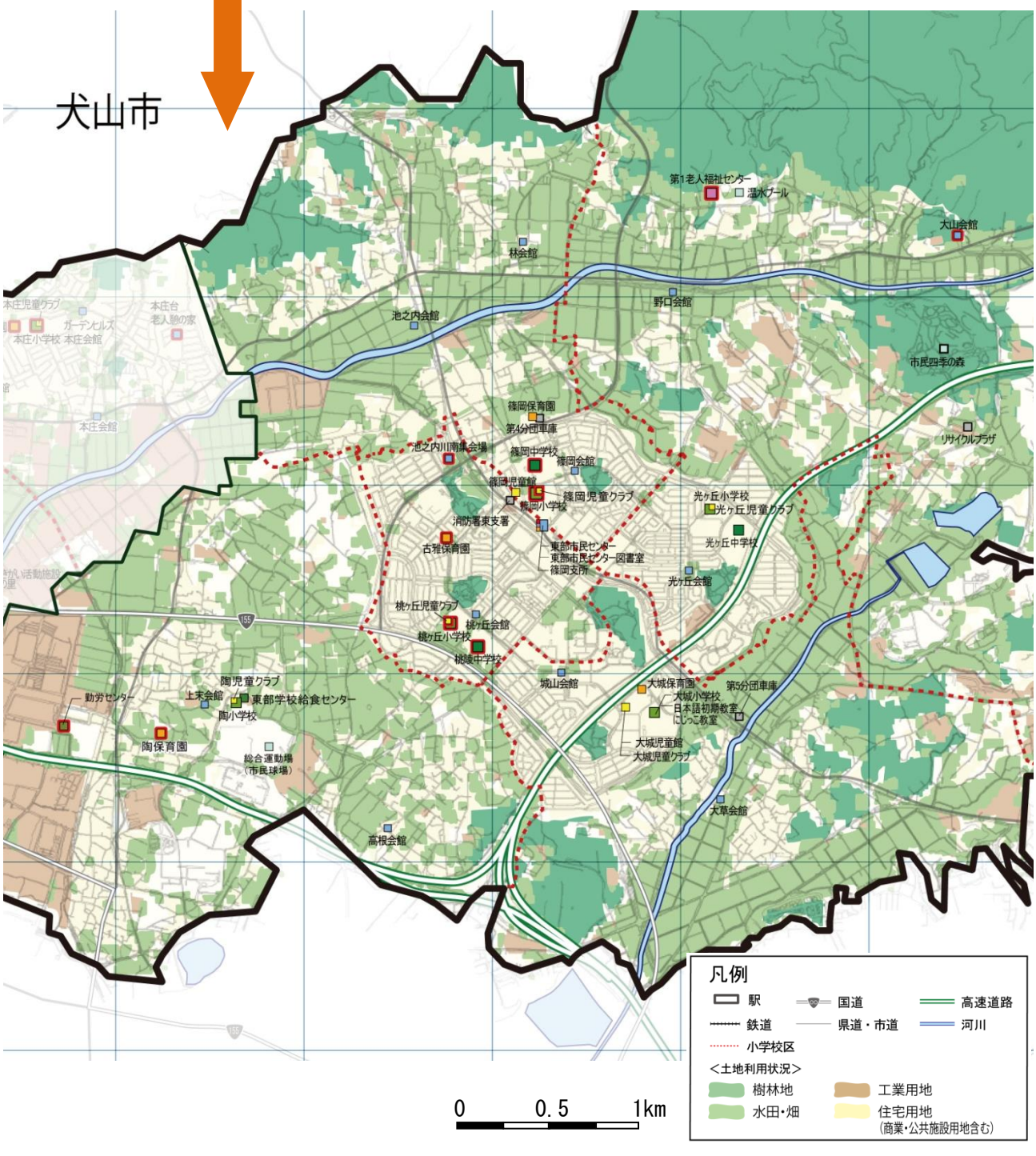
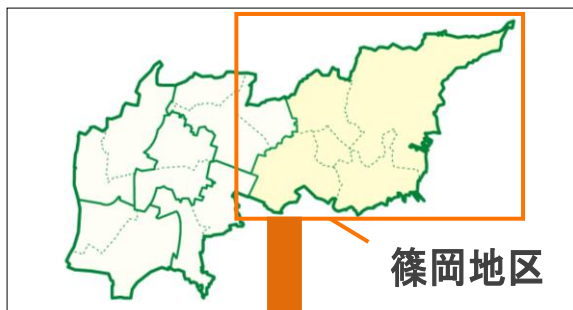
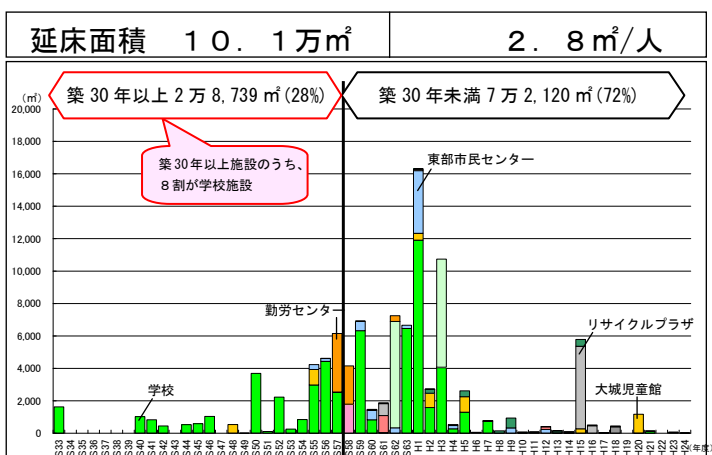


	平成5年	（構成比）	平成25年	（構成比）	平成45年	（構成比）
老年人口	2,164 人	（ 7% ）	7,423 人	（ 22% ）	7,784 人	（ 27% ）
生産年齢人口	22,221 人	（ 76% ）	20,458 人	（ 62% ）	17,501 人	（ 61% ）
年少人口	4,855 人	（ 17% ）	5,119 人	（ 16% ）	3,318 人	（ 12% ）

第4章 6地区・16小学校区毎の公共施設を
通じた行政サービスの実態

篠岡地区（篠岡小学校区・陶小学校区・桃ヶ丘小学校区・大城小学校区・光ヶ丘小学校区）

面積	27.4 km ²
人口	3万6,173人
人口密度	1,320人/km ²



第4章 6 地区・16 小学校区毎の公共施設を
通じた行政サービスの実態

篠岡地区（篠岡小学校区・陶小学校区・桃ヶ丘小学校区・大城小学校区・光ヶ丘小学校区）

利用圏域	用途分類		施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	利用状況		保有機能				コスト状況	
							稼働率	利用者数 (人)	ホール等 (㎡)	会議・集会機能			トータル コスト (万円)	利用者1人 当たり コスト (円/人)
										面積 (㎡)	室数 (室)	平均面積 (㎡/室)		
全市レベル	産業系施設	1	勤労センター	昭和57年	31	6,460	54%	299,197	894	1,516	10	152	21,693	725
	スポーツ施設	1	温水プール	平成3年	22	6,672		235,516					28,001	1,189
		2	総合運動場（市民球場）	昭和62年	26	6,574		82,103					7,972	971
	公園	1	市民四季の森	平成2年	23	1,634							17,922	
	環境施設	1	リサイクルプラザ	平成15年	10	5,089							72,551	
6地区	支所	1	篠岡支所	平成元年	24	123							2,743	
	高齢者福祉施設	1	第1老人福祉センター	昭和58年	30	1,785		69,608					6,232	895
	図書館	1	東部市民センター図書室	平成元年	24	528		56,752					3,325	586
		その他学校教育関連施設	1	東部学校給食センター	昭和59年	29	1,596						38,928	
		2	日本語初期教室にじっこ教室 （大城小学校内）	平成7年	18	61		30				1,516	505,269	
	消防施設	1	消防署東支署	昭和61年	27	1,023							15,534	
		2	第4分団車庫	昭和61年	27	49							269	
		3	第5分団車庫	平成6年	19	50							368	
市民センター	1	東部市民センター	平成元年	24	3,216	55%	103,793	742	262	5	52	9,572	922	
16小学校区	会館	1	大山会館	昭和56年	32	174		1,157		104	3	35	113	976
		2	野口会館	昭和62年	26	522		1,589		323	8	40	235	1,479
		3	林会館	平成12年	13	235		3,044		145	4	36	231	758
		4	池之内会館	平成9年	16	327		2,473		185	4	46	403	1,629
		5	上末会館	昭和60年	28	230		1,825		164	3	55	171	937
		6	大草会館	昭和59年	29	383		10,723		203	5	41	264	246
		7	高根会館	昭和60年	28	158		1,565		122	3	41	152	973
		8	桃ヶ丘会館	昭和59年	29	222		8,797		127	3	42	181	206
		9	篠岡会館	昭和60年	28	200		4,593		116	4	29	160	348
		10	光ヶ丘会館	昭和63年	25	199		17,658		120	4	30	192	109
		11	城山会館	平成4年	21	202		14,177		125	3	42	186	131
		12	池之内川南集会場	昭和55年	33	296		26,268		185	3	62	140	53
	児童クラブ	1	陶児童クラブ	平成15年	10	98		36					804	223,433
		2	桃ヶ丘児童クラブ	昭和55年	33	124		82					1,422	173,453
		3	光ヶ丘児童クラブ	昭和63年	25	124		62					763	123,129
		4	篠岡児童クラブ	昭和44年	44	60		53					1,089	205,405
		5	大城児童クラブ	平成20年	5	239		62					1,044	168,419
	児童館	1	篠岡児童館	平成元年	24	455		45,063					2,682	595
		2	大城児童館	平成20年	5	924		67,109					4,363	650

利用圏域	用途分類	施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	児童数 生徒数 (人) ※	学級数（学級）	
							通常学級	特別支援 学級
16小学校区	小学校	1 篠岡小学校	昭和33年	55	5,847	425	14	3
		2 桃ヶ丘小学校	昭和50年	38	6,299	499	17	2
		3 陶小学校	昭和59年	29	4,143	217	8	2
		4 光ヶ丘小学校	昭和62年	26	6,968	385	12	2
		5 大城小学校	平成元年	24	7,288	385	13	2
	中学校	1 篠岡中学校	昭和40年	48	7,401	222	7	2
		2 桃陵中学校	昭和56年	32	8,724	553	16	2
		3 光ヶ丘中学校	平成元年	24	8,289	347	10	2

※児童数生徒数＝単式学級在籍者数＋特別支援学級在籍者数

利用圏域	用途分類	施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	園児数 (人)	定員 (人)	入園率	コスト状況	
									トータル コスト (万円)	園児1人 当たり コスト (円/人)
16小学校区	保育園	1 陶保育園	昭和48年	40	567	66	100	66%	7,050	1,068,232
		2 篠岡保育園	平成5年	20	952	158	170	93%	13,583	859,702
		3 古雅保育園	昭和55年	33	1,139	132	200	66%	12,646	958,002
		4 大城保育園	平成2年	23	884	153	170	90%	13,021	851,029

(※) ■ 築 20 年以上経過した施設 ■ 築 30 年以上経過した施設 ■ 築 40 年以上経過した施設

篠岡地区（篠岡小学校区・陶小学校区・桃ヶ丘小学校区・大城小学校区・光ヶ丘小学校区）

■現状と課題

＜人口動向の変化からみる課題＞

- ・ 篠岡地区は、今後 20 年間の推計で地区内の総人口は約 26%の減少予測で、これは市全体が今後 20 年で約 9%減少予測となっているのと比較して最も大きな減少率となっています。年齢階層別では、老年人口は約 63%（+4,473 人）の増加予測であり、これは 6 地区の中で最も高い増加率となっています。また、生産年齢人口も約 48%（-11,710 人）と大幅な減少予測となっており、地区内の人口構成が 20 年間で大きく変化する予測となっています。今後は大幅な人口構成の変化に伴う利用ニーズの変化を詳細に把握し、地区内に必要な施設及び機能の再整理をすることが課題となります。

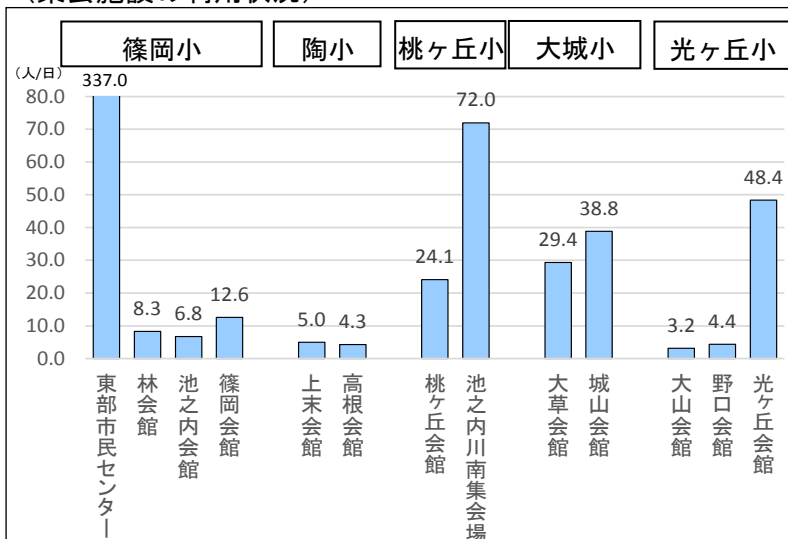
＜施設の配置状況、保有機能からみる課題＞

- ・ 地区内には、会議や集会等を行える集会施設として、市民センターが 1 施設、会館が 12 施設整備されています。東部市民センターは、篠岡小学校区に整備されており、1 日当たりの利用者数は平均 337 人となっています。会館は、篠岡小学校区に 3 施設、陶小学校区に 2 施設、桃ヶ丘小学校区に 2 施設、大城小学校区に 2 施設、光ヶ丘小学校区に 3 施設整備され、1 日当たりの利用者数は、平均すると 21.4 人で 6 地区の中で最も利用が多くなっていますが、施設によってかなりばらつきがあります。桃花台ニュータウンに施設立地が集中しており、地域北部の市街化調整区域にはスポーツ施設が分布しています。今後は、利用状況と提供するサービス（施設数及び機能）とのバランスを検証する必要があります。
- ・ 次に、0～14 歳の年少人口に着目すると、今後 20 年間でさらに約 44%の減少となります。市平均よりは大幅な減少予測となっており、それに対して学校数は他の地区に比べて多く立地しています。学校施設の改修・建替え等に際しては、他の機能との複合化を見据えた整備手法の検討が必要です。

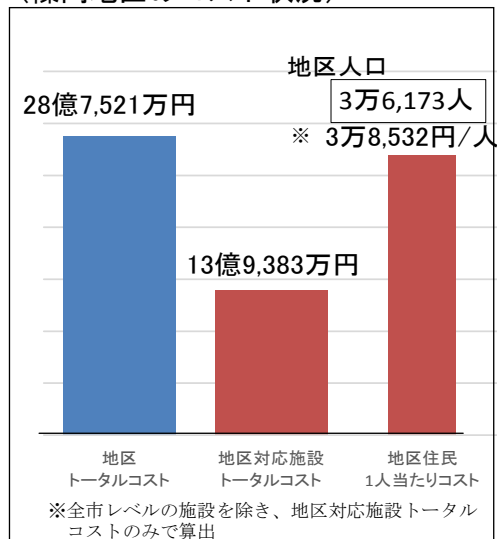
＜施設保全からみる課題＞

- ・ 地区内の施設のうち、大規模な施設は、勤労センターや市民センター、学校施設等、他の地区に比べ大規模な施設を多く保有していますが、いずれも老朽化対策が必要な時期を迎えています。大規模施設は他の施設に比べ更新費用も多くかかるため、厳しい財政状況下であることを踏まえ、より費用を抑えた効率的な施設整備手法等を検討するとともに、周辺施設との集約化・複合化等を検討することが必要です。

（集会施設の利用状況）



（篠岡地区のコスト状況）

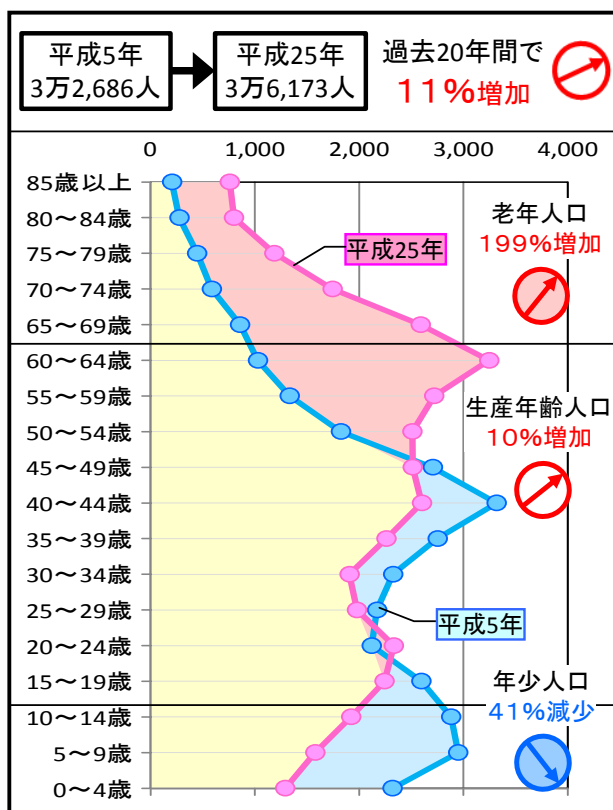


篠岡地区（篠岡小学校区・陶小学校区・桃ヶ丘小学校区・大城小学校区・光ヶ丘小学校区）

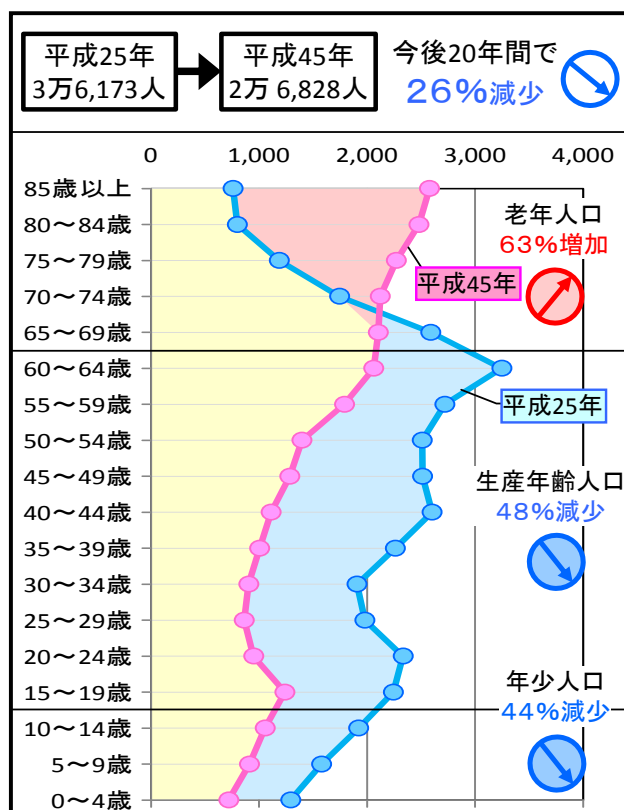
■今後の検討の視点＜地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起＞

- 篠岡地区は、公共施設約 10.1 万㎡（市の保有面積の約 25%）と小牧地区に次いで多くの施設を保有しており、また、学校施設は約 56%と他の地区に比べ学校施設以外の施設割合も多くなっています。また、築 30 年未満の施設が地区内施設の約 72%と、他の施設に比べ比較的新しい施設が多く立地している地区でもあります。勤労センターや大規模なスポーツ施設等、市内・市外の利用者を対象とした施設もあり、地区住民と地区に訪れる人の両方に着目した施設整備が必要となります。篠岡地区は、平成 45 年には老年人口比率が約 43%と非常に高齢化が予測される地区でもあるため、地区住民へのサービス向上へ向けて機能の集約化や施設の複合化などを検討するとともに、大規模施設については、効率的な施設更新手法を検討し、実施する必要があります。
- 篠岡地区に整備されている施設の年間トータルコストは、合計 28 億 7,521 万円です。地区住民 1 人あたりに換算すると、3 万 8,532 円となっています。今後、地区別/小学校区が利用圏域の施設については、一体的な整備を含めた多機能化・複合化等による費用を抑えた効率的な整備を検討するとともに、全市レベルの広域対応施設は運営の効率化等によるランニングコストの削減による総合的な改善を図るなど、地域単位でのトータルコストを圧縮していく工夫も必要となります。

（人口構成変化：平成 5 年⇒平成 25 年）



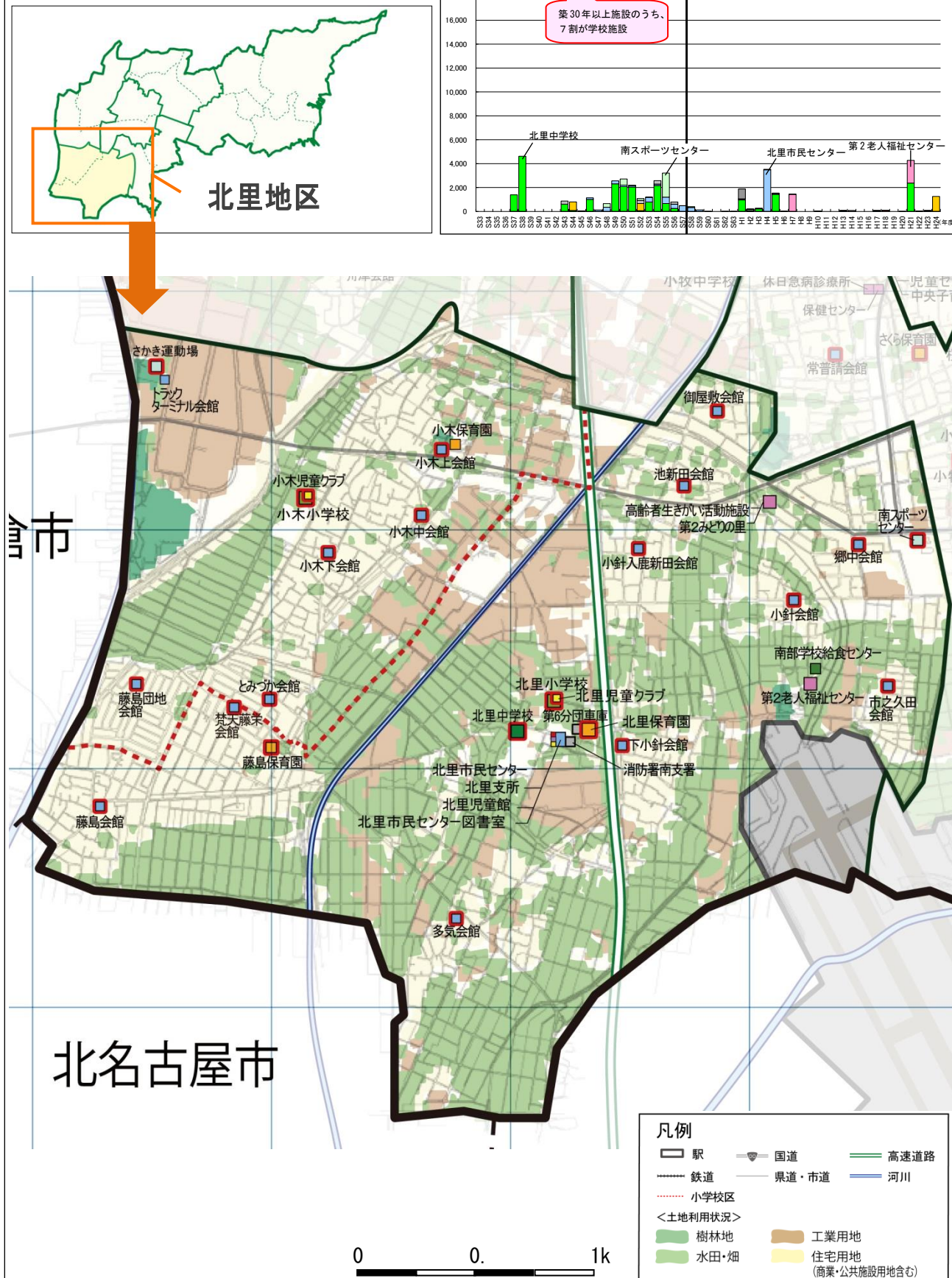
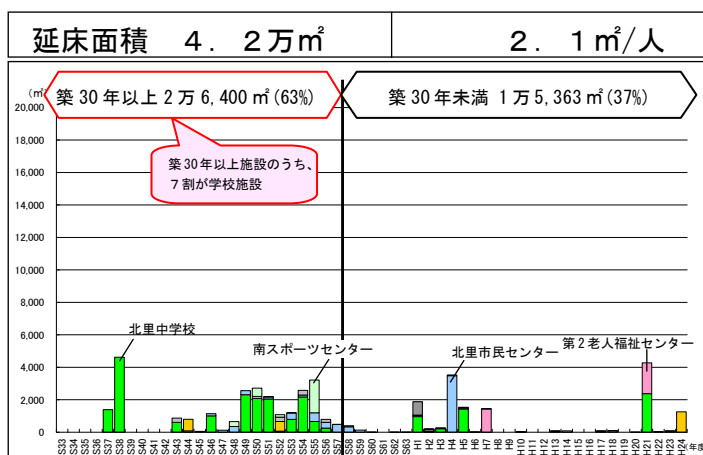
（人口構成変化：平成 25 年⇒平成 45 年）



	平成5年	(構成比)	平成25年	(構成比)	平成45年	(構成比)
老年人口	2,368 人	(7%)	7,076 人	(20%)	11,549 人	(43%)
生産年齢人口	22,169 人	(68%)	24,307 人	(67%)	12,597 人	(47%)
年少人口	8,149 人	(25%)	4,790 人	(13%)	2,682 人	(10%)

北里地区（小木小学校区・北里小学校区）

面積	8.1 km ²
人口	1万9,773人
人口密度	2,441人/km ²



第4章 6地区・16小学校区毎の公共施設を
通じた行政サービスの実態

北里地区（小木小学校区・北里小学校区）

利用圏域	用途分類		施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	利用状況		保有機能				コスト状況	
							稼働率	利用者数 (人)	ホール等 (㎡)	会議・集会機能			トータル コスト (万円)	利用者1人 当たり コスト (円/人)
										面積 (㎡)	室数 (室)	平均面積 (㎡/室)		
6地区	支所	1	北里支所	平成4年	21	98							1,950	
	スポーツ施設	1	南スポーツセンター	昭和55年	33	2,983		108,913		60	1	60	6,875	631
		2	さかき運動場	昭和58年	30	196		45,779					2,427	530
	高齢者福祉施設	1	第2老人福祉センター	平成21年	4	1,928		105,324					7,381	701
		2	高齢者生きがい活動施設第2みどりの里	平成7年	18	1,450		5,364					2,469	4,604
	図書館	1	北里市民センター図書室	平成4年	21	181		13,217					1,605	1,214
	その他学校教育関連施設	1	南部学校給食センター	平成21年	4	2,372							34,832	
	消防施設	1	消防署南支署	平成4年	21	506							13,784	
16小学校区		1	第6分団車庫	平成18年	7	89							323	
	市民センター	1	北里市民センター	平成4年	21	2,310	33%	46,109	537	216	4	54	7,629	1,655
	会館	1	御屋敷会館	昭和51年	37	128		1,088		51	1	51	117	1,072
		2	郷中会館	昭和50年	38	193		1,173		117	2	59	170	1,448
		3	市之久田会館	昭和46年	42	195		2,208		126	3	42	195	881
		4	池新田会館	昭和49年	39	184		1,642		111	1	111	301	1,831
		5	小針入鹿新田会館	昭和49年	39	124		7,356		51	1	51	121	164
		6	小針会館	昭和47年	41	187		2,778		114	1	114	324	1,167
		7	下小針会館	昭和48年	40	351		1,568		184	2	92	355	2,262
		8	多気会館	昭和53年	35	398		7,511		214	4	54	306	407
		9	小木上会館	昭和55年	33	412		3,400		208	2	104	450	1,324
		10	小木中会館	昭和55年	33	188		1,126		90	1	90	138	1,228
		11	小木下会館	昭和56年	32	349		1,830		161	2	81	418	2,284
		12	藤島会館	昭和57年	31	410		3,540		210	3	70	293	828
		13	藤島団地会館	昭和58年	30	333		9,753		206	3	69	275	281
		14	とみづか会館	昭和57年	31	125		3,524		73	2	36	116	328
		15	トラクターミナル会館	昭和59年	29	125		155		46	1	46	123	7,935
		16	梵天藤栄会館	昭和54年	34	121		890		92	3	31	414	4,653
	児童クラブ	1	北里児童クラブ	昭和38年	50	158		51					853	167,308
		2	小木児童クラブ	昭和49年	39	62		46					722	156,975
	児童館	1	北里児童館	平成4年	21	411		29,213					2,108	722

利用圏域	用途分類	施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	児童数 生徒数 (人) ※	学級数（学級）	
							通常学級	特別支援 学級
16小学校区	小学校	1 北里小学校	昭和37年	51	6,363	559	19	2
		2 小木小学校	昭和49年	39	5,952	310	12	2
	中学校	3 北里中学校	昭和38年	50	8,130	433	12	2

※児童数生徒数＝単式学級在籍者数＋特別支援学級在籍者数

利用圏域	用途分類	施設名称	建築年度 (年度)	築年数 (年)	延床面積 (㎡)	園児数 (人)	定員 (人)	入園率	コスト状況	
									トータル コスト (万円)	園児1人 当たり コスト (円/人)
16小学校区	保育園	1 北里保育園	昭和44年	44	724	102	110	93%	9,045	886,717
		2 小木保育園	平成24年	1	1,256	103	110	94%	11,305	1,097,603
		3 藤島保育園	昭和52年	36	595	58	80	73%	6,392	1,102,094

(※) ■ 築20年以上経過した施設 ■ 築30年以上経過した施設 ■ 築40年以上経過した施設

北里地区（小木小学校区・北里小学校区）

■現状と課題

＜人口動向の変化からみる課題＞

- ・ 北里地区は、今後 20 年間の推計で地区内の総人口は約 4%の減少予測で、これは市全体が今後 20 年で約 9%減少予測となっているのと比較して同程度となっています。年齢階層別では、老年人口は約 6%（+280 人）の増加予測であり、生産年齢人口、年少人口ともに市の変化よりも緩やかな予測となっています。地区内においても、人口構成や利用者ニーズ等に対する今後の対応策も違ってくるのが考えられるため、今後は人口構成による利用ニーズの変化を詳細に把握し、地区内に必要な施設及び機能の再整理をすることが課題となります。

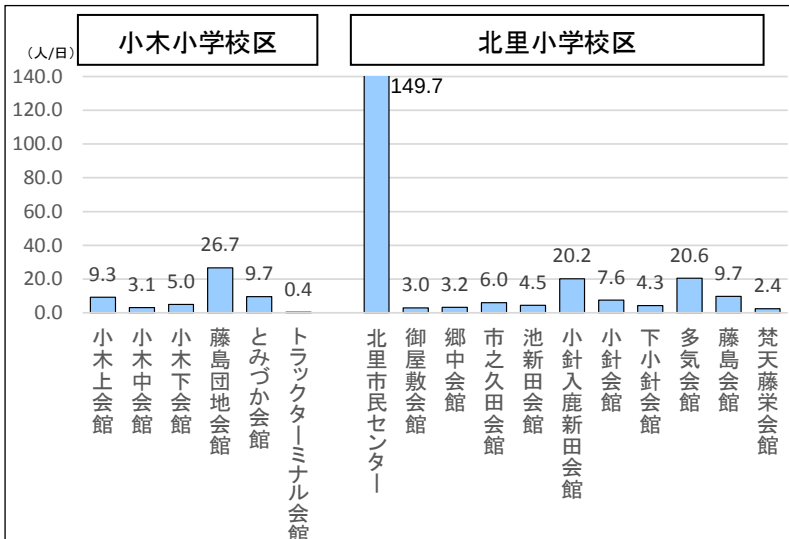
＜施設の配置状況、保有機能からみる課題＞

- ・ 地区内には、会議や集会等を行える集会施設として、市民センターが 1 施設、会館が 16 施設整備されています。北里市民センターは、北里小学校区に整備されており、1 日当たりの利用者数は平均 150 人となっています。会館は、小木小学校区に 6 施設、北里小学校区に 10 施設整備され、1 日当たりの利用者数は、平均すると 8.5 人です。市民センター、会館それぞれ学習室や和室等の類似機能を保有しており、また、会館はかなり近接して立地しているところもあるため、利用状況と提供するサービス（施設数及び機能）とのバランスを検証する必要があります。
- ・ 次に、0～14 歳の年少人口に着目すると、今後 20 年間で約 14%の減少予測となります。市平均よりは減少率は少ないですが、関連する学校施設や保育園、児童館等は築 20 年以上経過している施設が大半を占め、老朽化が進行しています。施設更新時には単純な更新ではなく、将来の需要予測を見据えて施設の有効活用を視野に入れた検討が必要です。

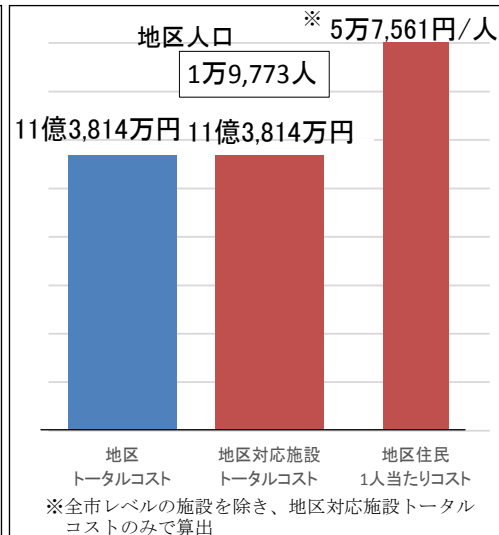
＜施設保全からみる課題＞

- ・ 地区内の施設のうち、大規模な施設は、南スポーツセンターや学校施設ですが、災害時の避難において重要な役割を果たす拠点であるこれらの施設は、いずれも老朽化対策が必要な時期を迎えており、大規模改修又は建替えの検討等の具体的かつ早急な対応が課題となります。より費用を抑えた効率的な施設整備手法や近接施設の統廃合を含めた検討をすることが必要です。

（集会施設の利用状況）



（北里地区のコスト状況）

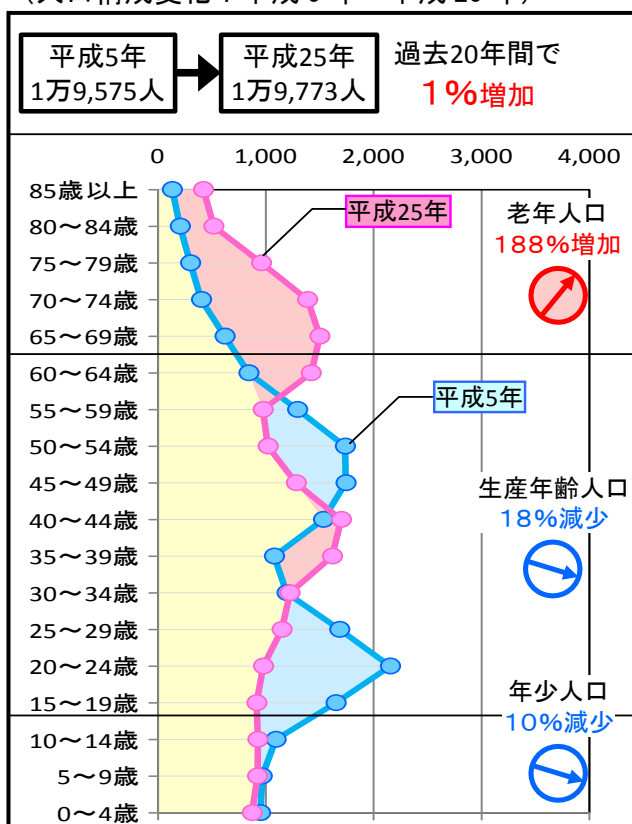


北里地区（小木小学校区・北里小学校区）

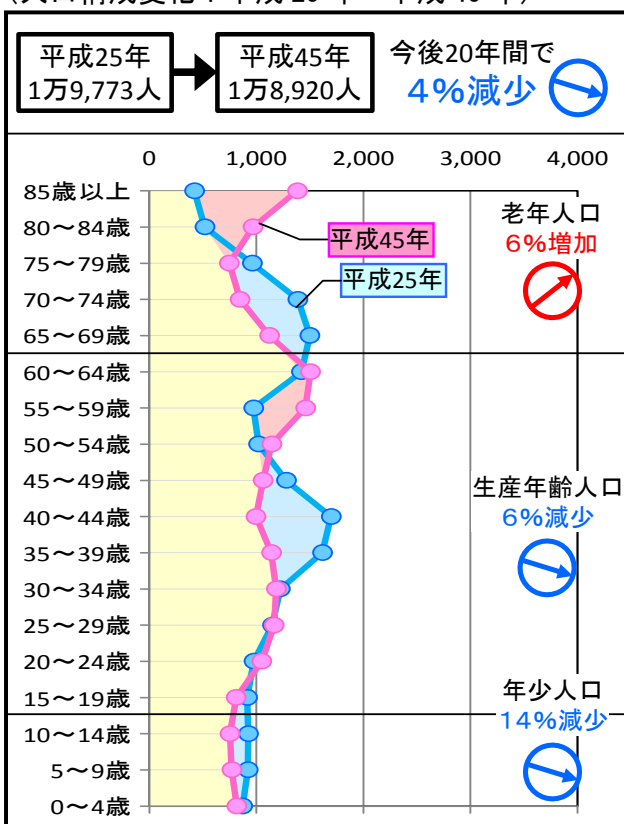
■今後の検討の視点＜地区の特性に応じた機能見直しや複合化などの検討視点の提起＞

- 北里地区は、公共施設約 4.2 万㎡（市の保有面積の約 10%）、そのうち約 55%が学校施設となっています。また、築 30 年以上経過した施設が地区内施設の約 63%を占め、その中でも学校施設が約 68%を占めているなど、特に老朽化が進行しています。施設は、バス路線に沿って立地している傾向にあります。地区内の人口動向を踏まえて、施設・機能の適正配置や複合化など実施する必要があります。
- 北里地区に整備されている施設の年間トータルコストは、合計 11 億 3,814 万円です。地区住民 1 人あたりに換算すると、5 万 7,561 円となっており、6 地区の中で最も割高となっています。今後、施設の更新にあたっては施設の立地等も考慮し近接する施設は一体的に更新するなどの工夫をするとともに、更新費用の削減だけでなく、複合化等による一体的な施設に管理によって運営の効率化を図りランニングコストの削減を図るなど、施設の再編等により地域単位でのトータルコストを圧縮していく工夫も必要となります。

（人口構成変化：平成 5 年⇒平成 25 年）



（人口構成変化：平成 25 年⇒平成 45 年）



	平成5年	(構成比)	平成25年	(構成比)	平成45年	(構成比)
老年人口	1,660 人	(8%)	4,785 人	(24%)	5,065 人	(27%)
生産年齢人口	14,907 人	(76%)	12,270 人	(62%)	11,517 人	(61%)
年少人口	3,008 人	(15%)	2,718 人	(14%)	2,338 人	(12%)

